





スーパーマップル・デジタル 簡易マニュアル

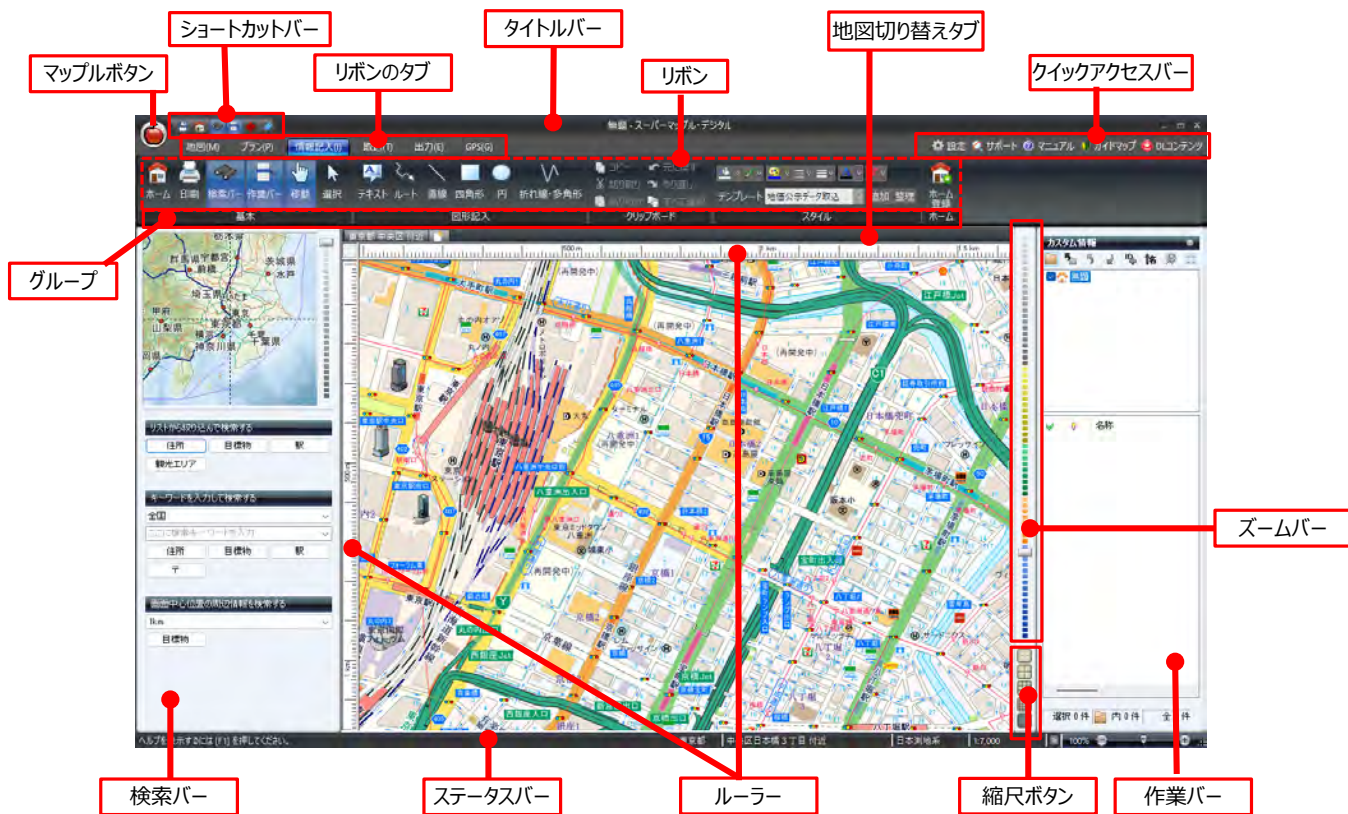
CONTENTS

基本 & 地図 表示	スーパーマップル・デジタルの基本構成	2
	地図スタイルの変更	3
	カスタム情報の記入	4
情報 記入 編集	カスタム情報の編集・追加	8
	カスタム情報の削除	9
	テキスト情報の取込み	10
	KML/GeoJSON/SHPの取込みとデータ/フォルダー整理	13
情報 取込 & グラフ & その他	各種グラフの作成	20
	「おでかけ」のプランニング活用	22
	計画・地図の印刷	24
	画像データ（情報）の取込み	25
	KML/GeoJSONファイル出力	26
	複数行政区画選択	27
	スマホ・タブレットへの地図出力	28

※ご注意：画像イメージは開発中のものも含まれます

■さらに詳しく調べるには■
 クイックアクセスバーにある  設定  サポート  マニュアル  ガイドマップ を参照して下さい。
 本書で紹介しきれない細かい使い方・操作方法などが掲載されています。

■スーパーマップル・デジタルの基本画面構成



各操作ボタンの役割 赤字の項目は、よく使用する項目です。

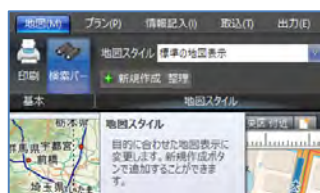
- 【**マップルボタン**】 基本的なファイル操作で「新規」、「開く」、「保存」、「終了」などを行います。
- 【**ショートカットバー**】 リボンを最小化し、地図エリアを広くし操作するとき、使用します。
- 【**リボンのタブ**】 操作を目的別に整理したものです。
- 【**リボン**】 各操作を行うためのアイコンを示します。
- 【**地図切り替えタブ**】 地図表示エリアを登録し、切替表示ができます。
- 【**クイックアクセスバー**】 基本設定や「マニュアル」「ガイドブック」表示、「サポート」情報など確認できます。
- 【**グループ**】 操作時のアイコンをグループ分けしたものです。
- 【**検索バー**】 住所や施設名称から、該当の場所へ地図移動するとき使用します。
- 【**ステータスバー**】 操作時のメッセージなど表示されます。
- 【**ルーラー**】 表示されている地図範囲の距離を表示。
- 【**作業バー**】 情報の操作には必要な欄で、情報の取得・記入・表示・整理するとき使用します。
- 【**ズームバー**】 地図を広域から詳細まで、拡大縮小いたします。下部の[縮尺ボタン]で各色に設定された縮尺を表示します。

★操作時の参考

- ・検索バーが表示されていない場合、「基本」グループより、 を選択すると表示できます。
- ・作業バーが表示されていない場合、「基本」グループより、 を選択すると表示できます。

【🍎ポイント】

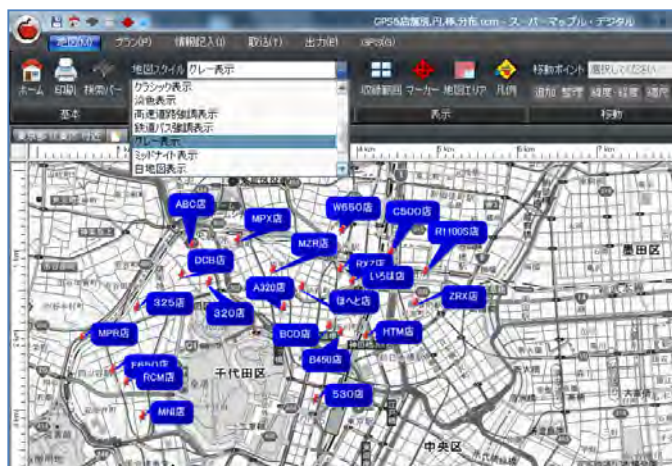
- ・各操作アイコンにマウスを置くと、操作をわかりやすくナビゲートする、アイコンの意味・目的が表示されます。



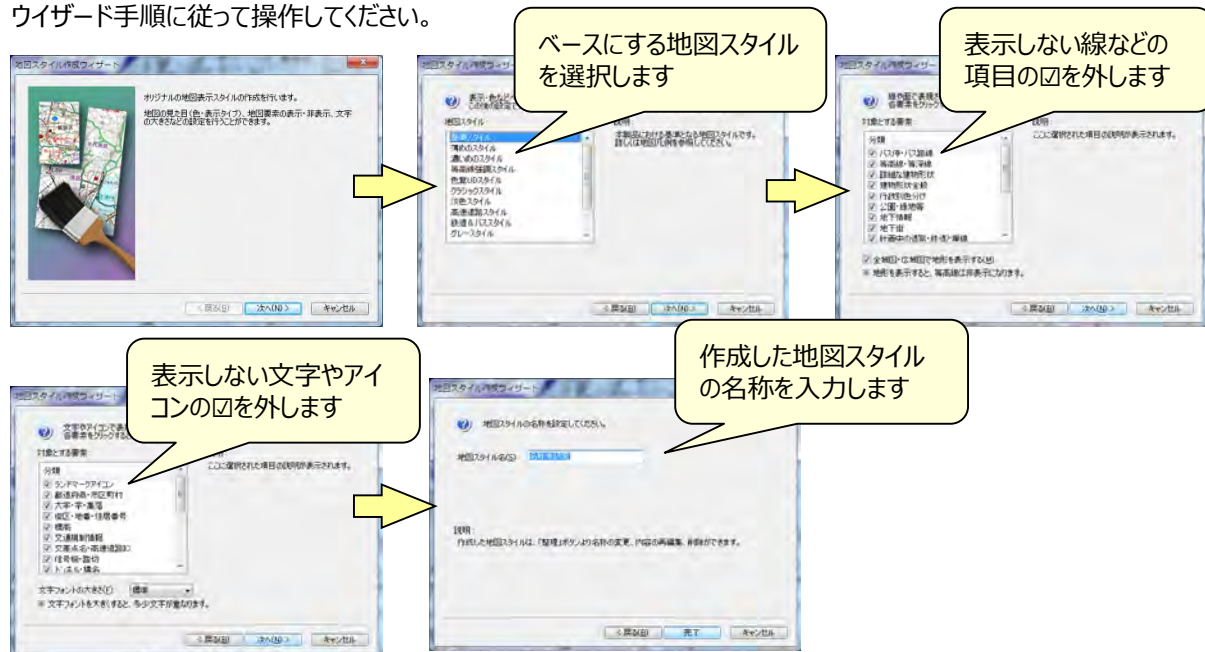
■ 地図スタイルの変更

地図の活用する上で、目的別に判断が行いやすい地図の表示方法を変更することができます。

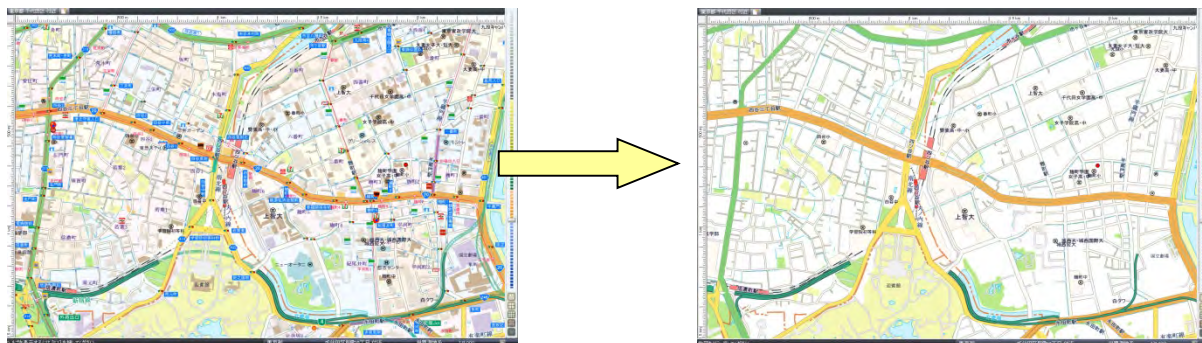
- ① [地図]の[地図スタイルの]をクリックし、目的にあった地図スタイルを選択することができます。



- ② [地図]の[地図スタイルの **+ 新規作成 整理**]をクリックし、目的にあった地図スタイルを作成することも出来ます。ウィザード手順に従って操作してください。



- ③ 標準スタイルをベースに、「文字やアイコン」を非表示にした例です。

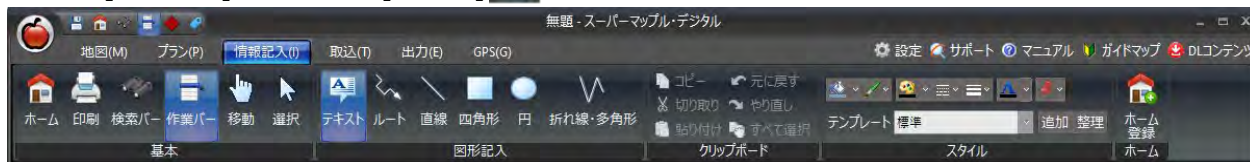



■ カスタム情報の記入

カスタム情報とは、地図上に名称（タイトル）としてアイコンと文字（または画像）を表示し、内部に住所などのコメントや写真、動画、EXCELファイル、PDF、Webリンクを持つことができるものです。

★初期状態（デフォルト）では、テキスト作成時の動作は、カスタム情報記入ウィザードを開くように設定されています。

- ① リボンの[情報記入]タブを選択し、[テキスト] ボタンをクリックします。



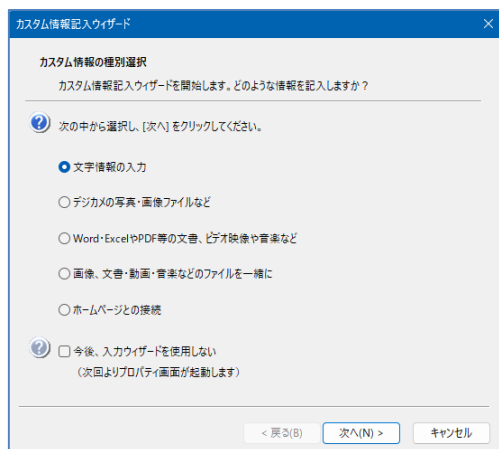
・地図上にマウスカーソルをもっていくと、 の形になります



【参考】

・[テキスト]ボタンのアイコンを Wクリックすると連続して情報記入ができるようになります。

- ② 「カスタム情報記入ウィザード」ダイアログが表示されます。
 入力するカスタム情報の種別にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

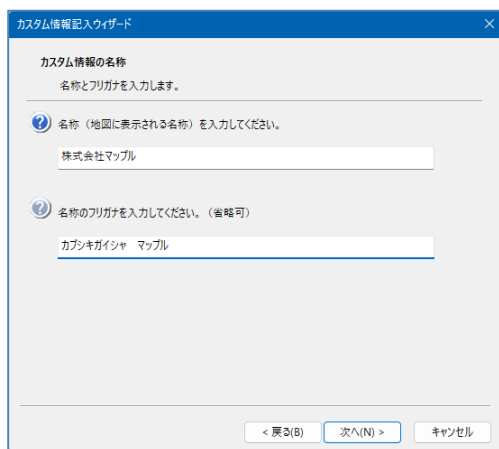


【参考】

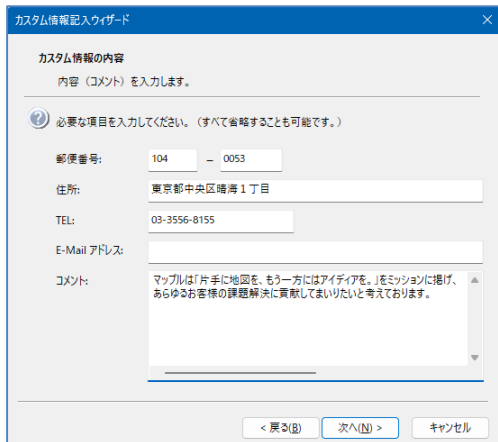
・「文字情報の入力」を選択した場合は「基本情報」だけの記入になります。
 ・他の項目は「基本情報」+「各種情報」が埋め込まれます。

・「今後、入力ウィザードを使用しない」をチェックすると、次回以降の情報記入はダイレクト記入の「プロパティ」を利用します。

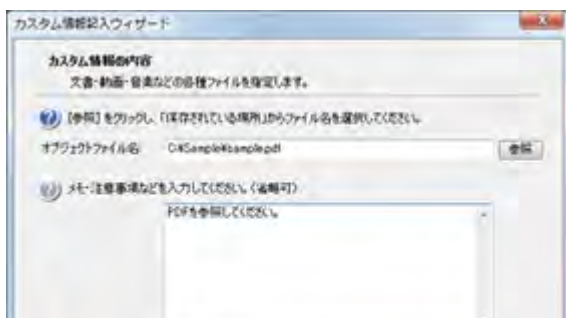
- ③ カスタム情報に設定する名称とフリガナを入力し、[次へ]をクリックします。



④ 「文字情報の入力」を選択した場合は「基本情報」だけの入力になるので、ここで入力は終了し⑥へ進みます。



⑤ 他の項目を選択した場合は、「基本情報」プラス下記の画面に従い入力してください。



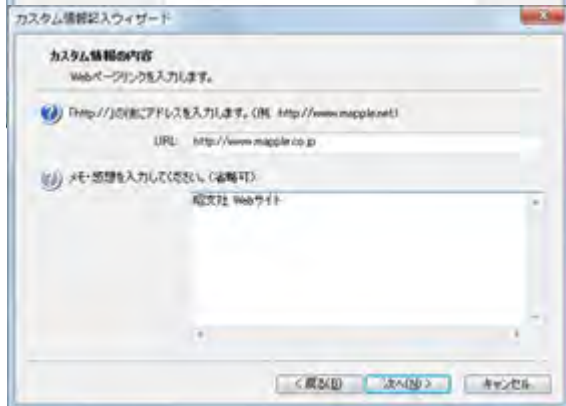
・「Word・ExcelやPDF等の文書、映像や音楽」の場合

[参照]をクリックし、カスタム情報に埋め込むEXCELファイル・文書・映像・音楽などのファイルを選択します。



・「画像、文書・動画・音楽などのファイルを一緒に」の場合

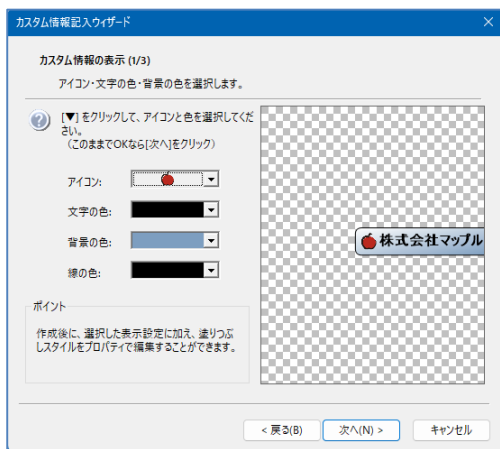
[参照]をクリックし、カスタム情報に埋め込む画像ファイルおよび文書・映像・音楽などのファイルを選択します。



・「ホームページとの接続」の場合

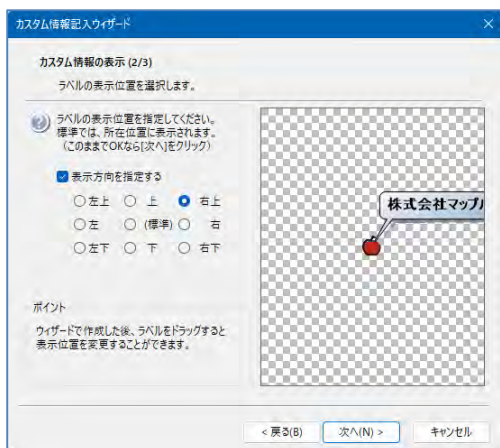
「http://」の後に、ホームページのアドレスを入力します。

⑥ アイコン、文字の色、背景の色を設定します。

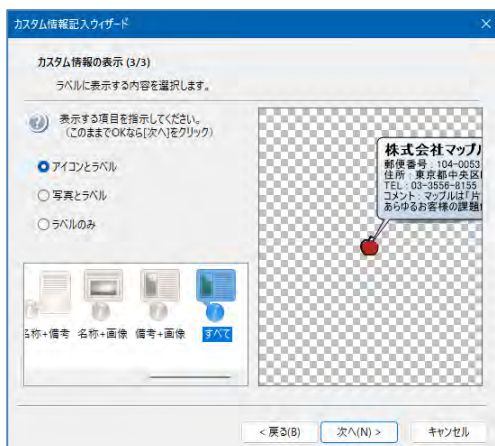


地図上に表示されるカスタム情報のアイコン、文字の色、背景の色、枠線の色を選択し、[次へ]をクリックします。

⑦ 引き出し線の有無・方向を必要なら設定し、[次へ]をクリックします。



⑧ アイコン・写真・名称・コメントの表示／非表示など、テキストの表示種類を選択します。



- ・初期値は「アイコンとラベル」の「名称」表示になっております。
- ・画面の例では、「すべて」表示です。
(基本情報とコメント全てが表示されます)

⑨ 最後に [完了] をクリックします。



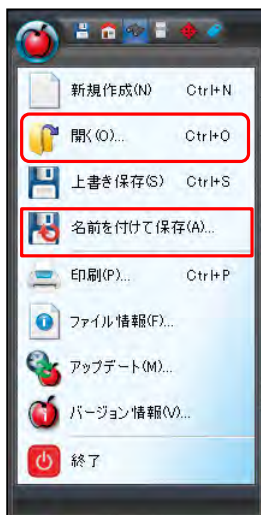
⑩ 「名称」のみの表示の場合は、「ラベル(名称)」をクリックすると内容が表示されます。




・「Webページリンク」が記入されている場合は、下記のようなメニューが表示されます。



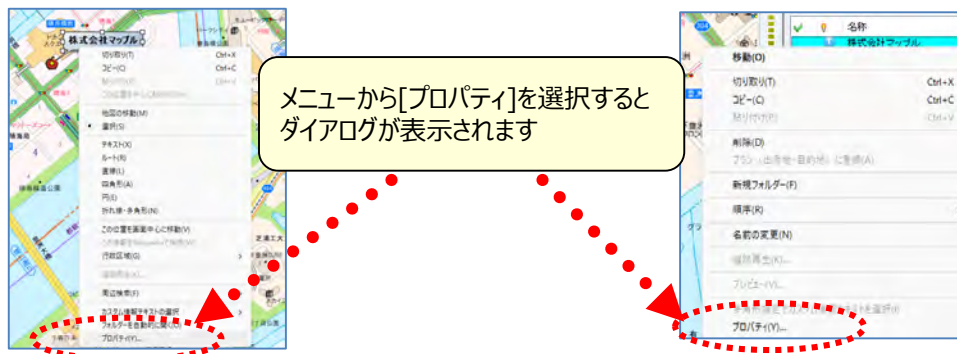
⑪ カスタム情報を保存するには【マップルボタン】をクリックし、[名前を付けて保存]を選択します。保存した「カスタム情報」を表示するには、[開く] をクリックします。



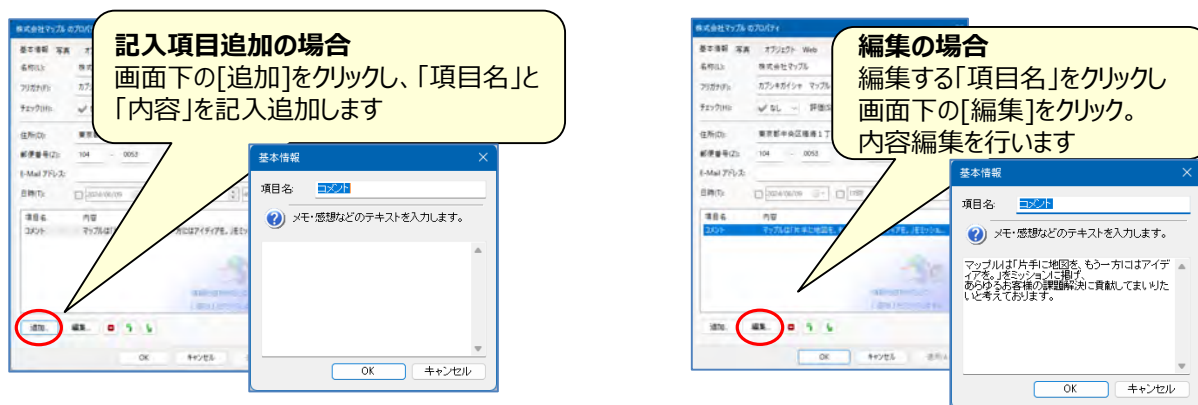
■ カスタム情報の編集・追加

- ① アイコンでカスタム情報の名称上でクリックし、 (選択状態) となった上で右クリック。

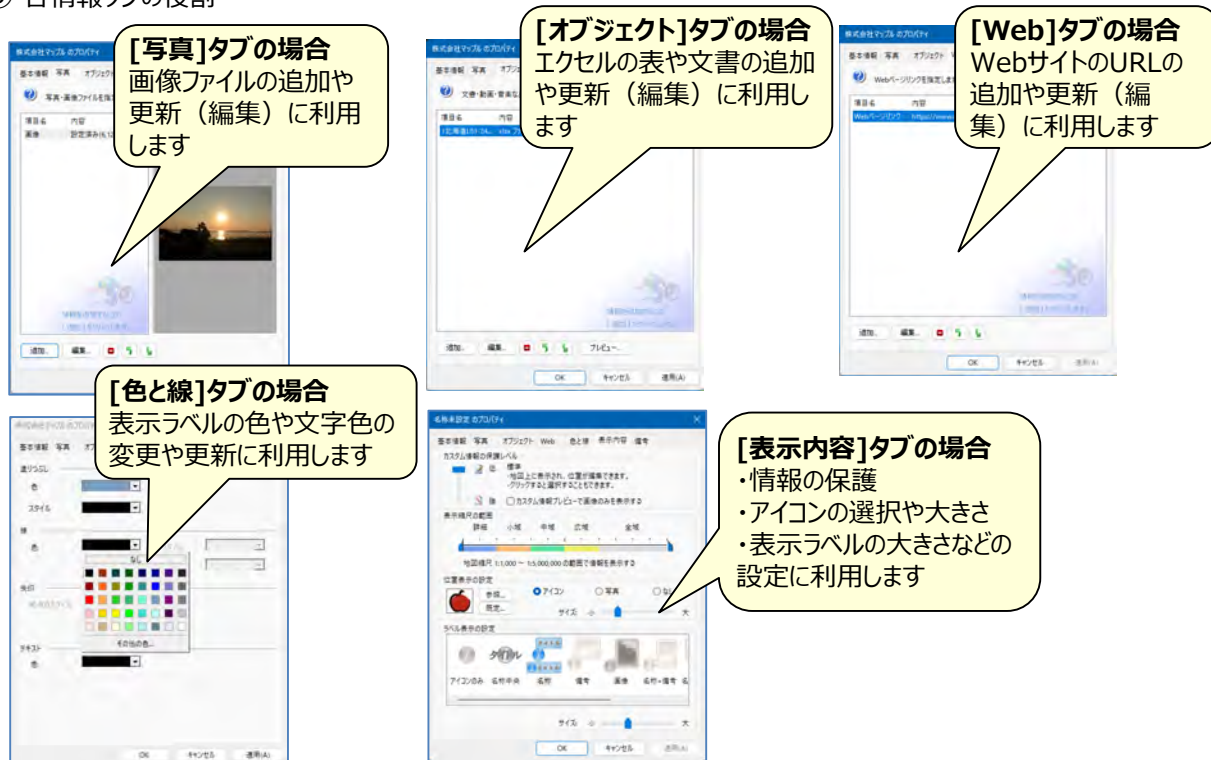
又は、「カスタム情報」欄の「該当名称」を右クリックし、[プロパティ]を選択してください。



- ② 基本情報の編集・追加の「タブ」を選択します



- ③ 各情報タブの役割



④ ラベル（名称）の位置と引出線の変更



・カスタム情報テキストの位置を変更するには、選択モードにして選択状態の「名称」の上でマウスが に変わりますので、そのままドラッグします。

★引出線をつけて 地図上の注記や他の「名称」と重ならないように配置することができます。



・位置移動は、アイコン中央に表示されている「黄色いひし形」のマーカの上でマウスが に変わりますので、ドラッグして位置を変更できます。

■ カスタム情報の削除

① 「カスタム情報」欄の該当名称の上で、右クリックし、メニューから[削除]を選択します。



該当名称を、右クリックします

■テキスト情報の取込み

【テキスト情報への取り込みとは】

Excel形式やCSV形式で顧客管理、販売管理、年賀状ソフトなど他のアプリケーションから出力された情報をスーパーマップル・デジタル上にカスタム情報として取り込むことができます。

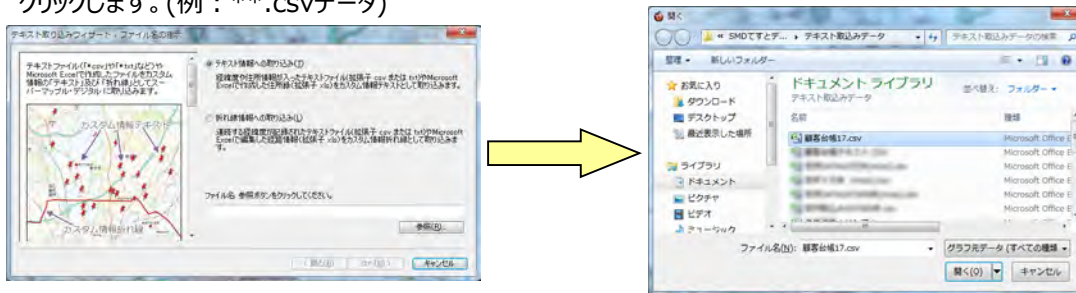
顧客名	フリガナ	郵便番号	住所1	住所2	住所3	住所4	電話番号	E-mail	URL	年齢 (千円)
1	中野 雄文	141-0022	東京都文京区	白山 5-3-13		親亀ハイツ 303号	03-9871-5301	nakano@mail.aaa01.	http://www	1,500
2	佐々木 眞	141-0022	東京都文京区	白山5丁目3番地1号		第七白馬ビル1F	03-9871-5302	sasaki@mail.aaa03.com		3,200
3	小山田 五郎	144-0051	東京都北区	神谷 1-3-1-4			03-9872-5303			5,000
4	山崎 徳也	125-0035	東京都豊島区	東横 3-17-2		ジャングル石山ビル 1F	03-9873-5304	yamazaki@mail.aaa04.ne.jp		6,000

【参考】一度に取り込めるデータは、データ内容の容量と機種能力によりませんが、約1万件程度可能です。

① スーパーマップル・デジタルを起動し、[取込]タブの[テキスト]をクリックします。

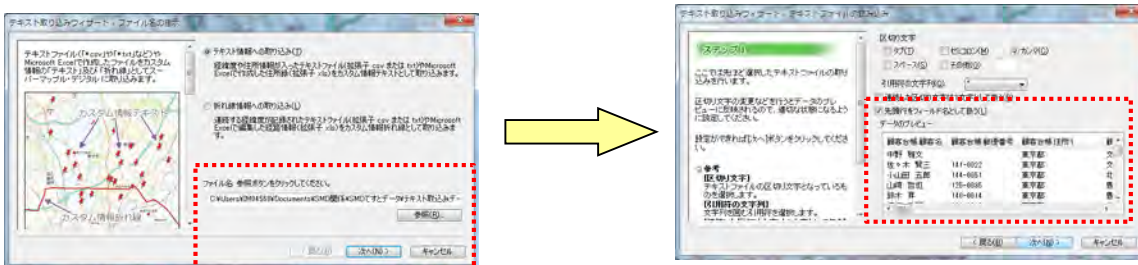


② 「テキスト情報への取り込み」を選択し、[参照]をクリックし「取り込む」ファイル（*.csv、*.xlsx）を選択し、[開く]をクリックします。(例：*.csvデータ)



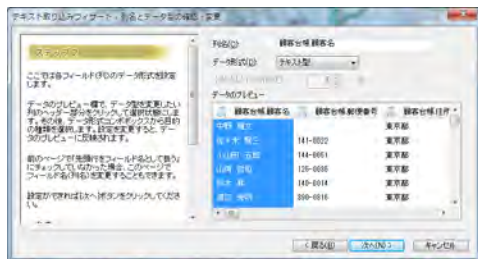
③ 「取り込み」を確認後、「次へ」をクリック。

[ステップ1] で、テキストファイルの『区切り文字』を選択し、取り込み設定を確認した後、「次へ」をクリックします。を設定します。初期値はCSVに対応した「カンマ」に設定されております。

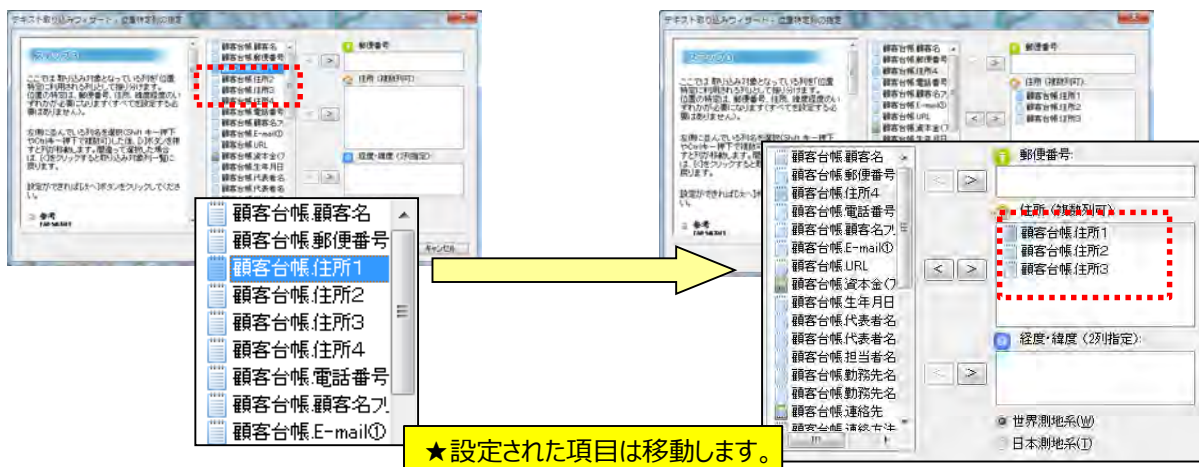


- ★[先頭行をフィールド名として扱う]の意味は先頭行をフィールド名（項目名）として取り込みます。
- ・先頭にフィールド名が無い場合は、自動的にフィールド番号が付与されます。
- ・「区切り文字」が不明の場合、プレビュー画面を見ながら設定してください。

④ [ステップ2] は、各列（項目名）のデータ形式の確認をします。

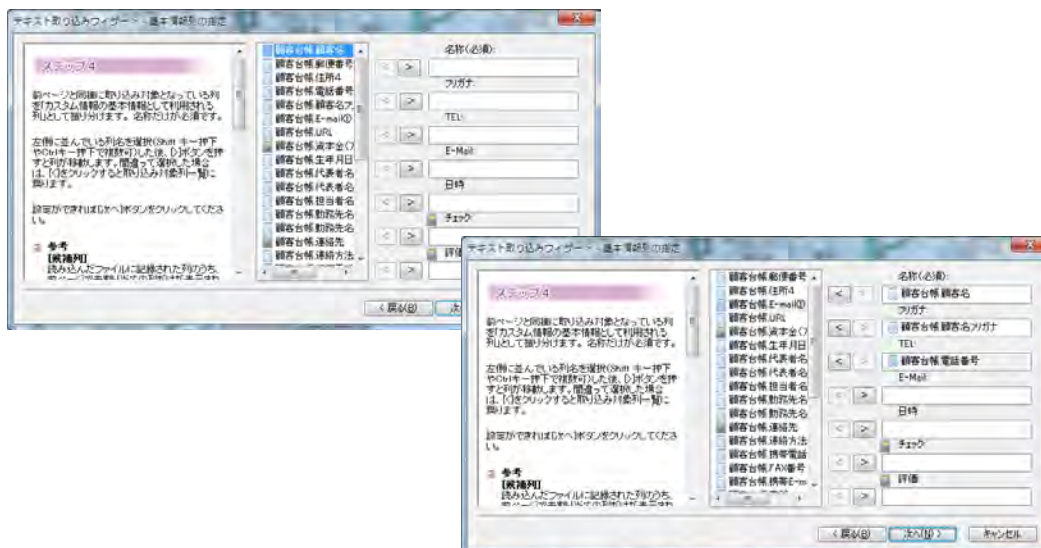


⑤ [ステップ3] は、表示位置を特定するために、「郵便番号」「住所」「経度・緯度」で設定します。（「住所での例」です。）



【重要】テキストファイルの取り込みでは、名称、表示位置（郵便番号、住所、経度緯度）の設定が必須です。

⑥ [ステップ4] は、名称（必須）など取り込みに必要な基本的な要素を設定します。



★取込む情報の項目名が「取込欄」に無い場合は、次の画面で「コメント」欄で取り込みます。

⑦ [ステップ5] は、「取込み」欄にない項目を「コメント」欄に取込みます。複数の項目を取り込むことができます。

ステップ5

前ページと同様に取込み対象となっている列をカラム情報の付帯情報として利用される列として振り分けます。

左側に表示している列名を選択(Shift キー押下やCtrlキー押下で複数可)した後、Dボタンを押すと列が移動します。間違えて選択した場合、[C]をクリックすると取り込み対象列一覧に戻ります。

設定ができれば[次へ]ボタンをクリックしてください。

参考
[除補列]
読み込んだファイルに記録された列のうち、特定の列を主キー(14桁の数字)に設定する場合は、

顧客台帳 郵便番号
顧客台帳 住所4
顧客台帳 住所5
顧客台帳 住所6
顧客台帳 住所7
顧客台帳 住所8
顧客台帳 住所9
顧客台帳 住所10
顧客台帳 住所11
顧客台帳 住所12
顧客台帳 住所13
顧客台帳 住所14
顧客台帳 住所15
顧客台帳 住所16
顧客台帳 住所17
顧客台帳 住所18
顧客台帳 住所19
顧客台帳 住所20
顧客台帳 住所21
顧客台帳 住所22
顧客台帳 住所23
顧客台帳 住所24
顧客台帳 住所25
顧客台帳 住所26
顧客台帳 住所27
顧客台帳 住所28
顧客台帳 住所29
顧客台帳 住所30
顧客台帳 住所31
顧客台帳 住所32
顧客台帳 住所33
顧客台帳 住所34
顧客台帳 住所35
顧客台帳 住所36
顧客台帳 住所37
顧客台帳 住所38
顧客台帳 住所39
顧客台帳 住所40
顧客台帳 住所41
顧客台帳 住所42
顧客台帳 住所43
顧客台帳 住所44
顧客台帳 住所45
顧客台帳 住所46
顧客台帳 住所47
顧客台帳 住所48
顧客台帳 住所49
顧客台帳 住所50
顧客台帳 住所51
顧客台帳 住所52
顧客台帳 住所53
顧客台帳 住所54
顧客台帳 住所55
顧客台帳 住所56
顧客台帳 住所57
顧客台帳 住所58
顧客台帳 住所59
顧客台帳 住所60
顧客台帳 住所61
顧客台帳 住所62
顧客台帳 住所63
顧客台帳 住所64
顧客台帳 住所65
顧客台帳 住所66
顧客台帳 住所67
顧客台帳 住所68
顧客台帳 住所69
顧客台帳 住所70
顧客台帳 住所71
顧客台帳 住所72
顧客台帳 住所73
顧客台帳 住所74
顧客台帳 住所75
顧客台帳 住所76
顧客台帳 住所77
顧客台帳 住所78
顧客台帳 住所79
顧客台帳 住所80
顧客台帳 住所81
顧客台帳 住所82
顧客台帳 住所83
顧客台帳 住所84
顧客台帳 住所85
顧客台帳 住所86
顧客台帳 住所87
顧客台帳 住所88
顧客台帳 住所89
顧客台帳 住所90
顧客台帳 住所91
顧客台帳 住所92
顧客台帳 住所93
顧客台帳 住所94
顧客台帳 住所95
顧客台帳 住所96
顧客台帳 住所97
顧客台帳 住所98
顧客台帳 住所99
顧客台帳 住所100

コメント(複数列可):
顧客台帳 年商(万円)
顧客台帳 従業員数(人)
顧客台帳 締め日

Webリンク(複数列可):
顧客台帳 URL

・Webリンクは、ホームページなどへのリンク情報 (URL)として設定されます

⑧ [ステップ6] は、スーパーマップル・デジタルで作成した情報をCSV出力した情報を、取込むときに使用します。「次へ」をクリックすると、テキストデータを検証し、取込みを開始します。

ステップ6

前ページと同様に取込み対象となっている列を「画面情報」として利用される列として振り分けます。

左側に表示している列名を選択(Shift キー押下やCtrlキー押下で複数可)した後、Dボタンを押すと列が移動します。間違えて選択した場合、[C]をクリックすると取り込み対象列一覧に戻ります。

設定ができれば[次へ]ボタンをクリックしてください。

参考
[除補列]
読み込んだファイルに記録された列のうち、特定の列を主キー(14桁の数字)に設定する場合は、

アイコンID:
フォルダー:
引出線定義:
順番:
 ラベルを表示しない(アイコンのみ表示)

Super Mapple Digital

テキストデータの検証を開始します。

この設定でよい場合は、[はい]を選択してください。設定の再確認・変更を行う場合は[いいえ]を選択します。

[はい(Y)] [いいえ(N)]

⑨ [最終ステップ] は、取込み後の状況を表示します。

・「大字」「市区町村」までしか、一致しなかった場合には警告を表示しますが、「番地」、「番」・「号」レベルまで一致した場合は警告を表示しません。

最終ステップ

取込みが完了しました。[戻る]ボタンをクリックして作業を中止するか、[次へ]ボタンをクリックして作業を続けます。

検証済みの状況

48行目	警告: 大字まで一致	東京都江戸川区臨海町
49行目	警告: 大字まで一致	神奈川県横浜市磯区
50行目	警告: 大字まで一致	東京都江東区東雲
52行目	警告: 大字まで一致	東京都府中市紅葉丘

内容を確認 (P.7の⑩を参照)

【🍎住所による、取り込みについてのご注意】

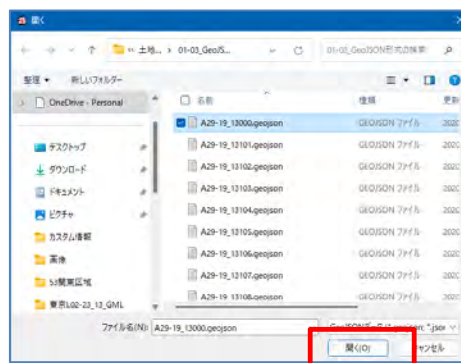
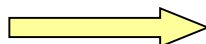
・東京都や大阪府などの特別政令指定都市、政令指定都市や、その他の県などは、その土地の住所体系が異なるため、若干警告の表示内容が異なりますのでご了承ください。

■ KML/GeoJSON/SHPのファイル取込みとデータ/フォルダー整理 (GeoJSONはV22以降/SHPはV25以降)

① スーパーマップル・デジタルを起動し、[取込]の[KML/GeoJSON]をクリックします。

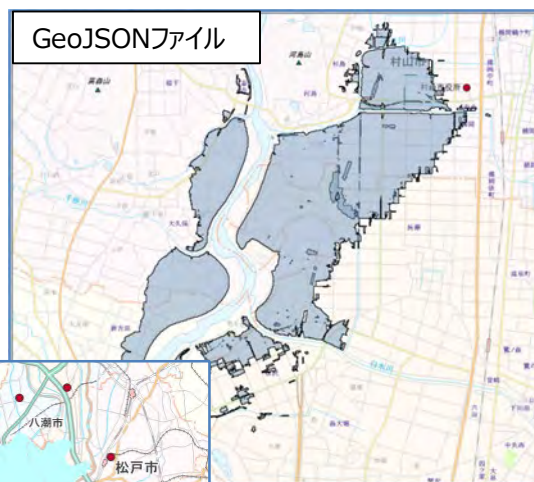
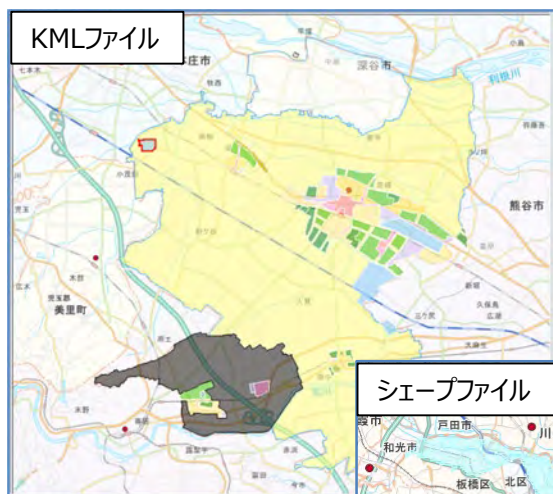


② 「KML/GeoJSON/SHPの取込み」を確認し、[次へ]ボタンを選択し、任意のKML/GeoJSON/SHPのファイル開きます。
例：「A29-19_13000.geojson」取り込み



③ KML/GeoJSON/SHPのファイルがカスタム情報としてされ表示されます。
※カスタム情報(**.rcm)として保存できます。

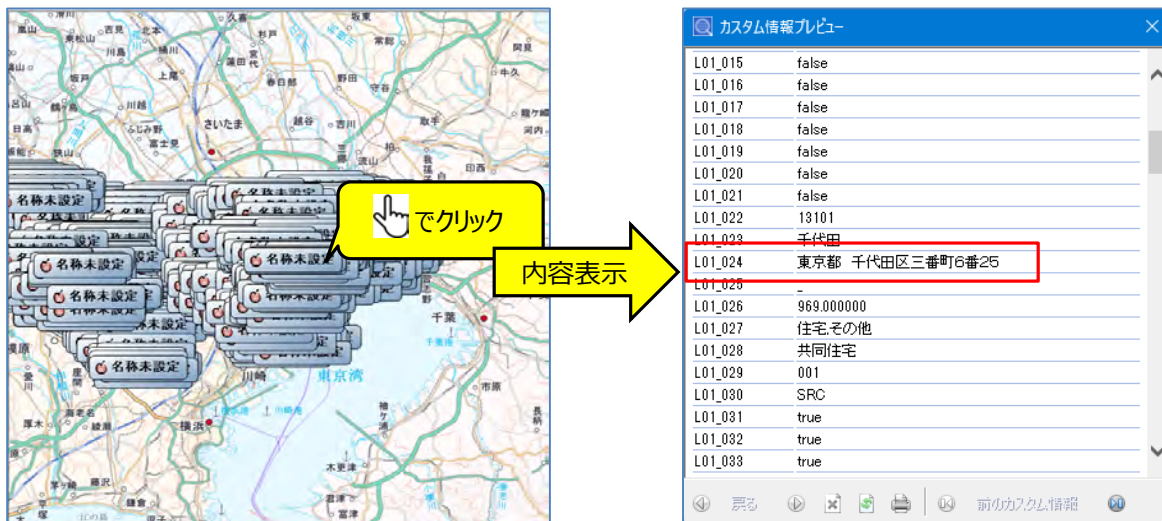
【カスタム情報として表示】



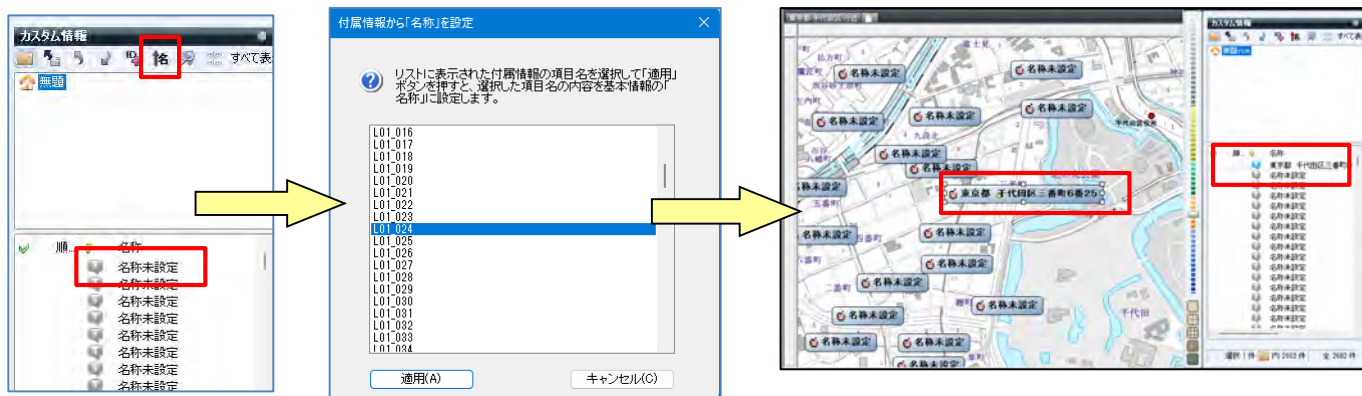
■ カスタム情報データの「名称」(ラベル) の整理/変更

① カスタム情報データの「名称」変更は、 アイコンで任意のデータをクリックし、カスタム情報プレビューから「名称」にする「項目」を確認しておく、作業が行いやすくなります。

※「オープンデータ」などのGISデータには、「名称」が特定されていないため、取込後「名称未設定」となります。

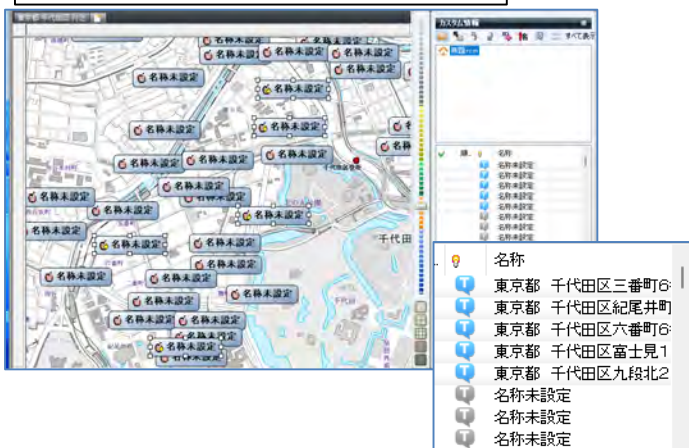


② 「名称」欄の [名称未設定] になっているデータをクリックし、「カスタム情報」欄上の をクリックし、名称変更したい項目を選択し、「適応」をクリックすると項目内容に記載されている文字が「名称」欄に表示されます。

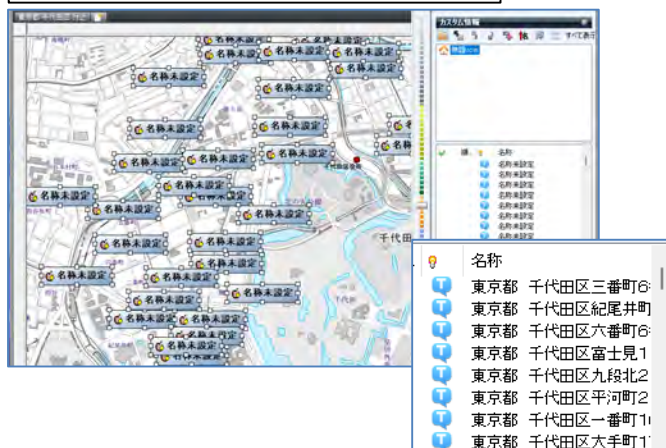


※ 複数のデータ、すべてのデータを一括で「名称設定」する場合

[Ctrl+該当データ]で複数選択



[Ctrl+A]ですべて選択

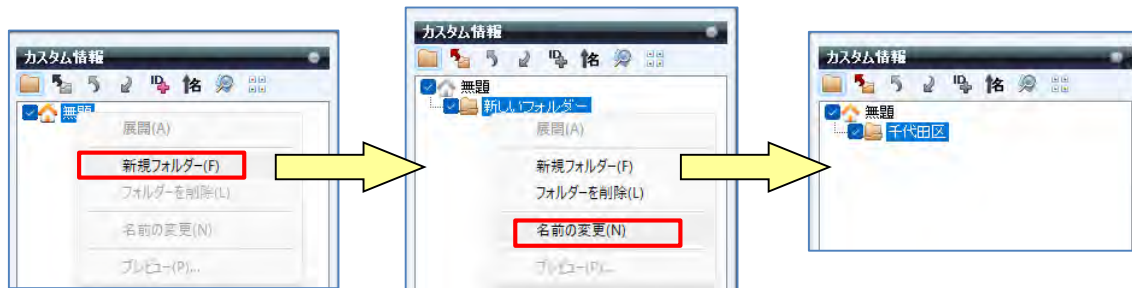


■ カスタム情報のフォルダー整理

① 「カスタム情報検索」を活用して、データのフォルダー分けをします。

例：カスタム情報欄の無題で右クリックし、新規フォルダーをクリックし、[新規フォルダー]を作成。

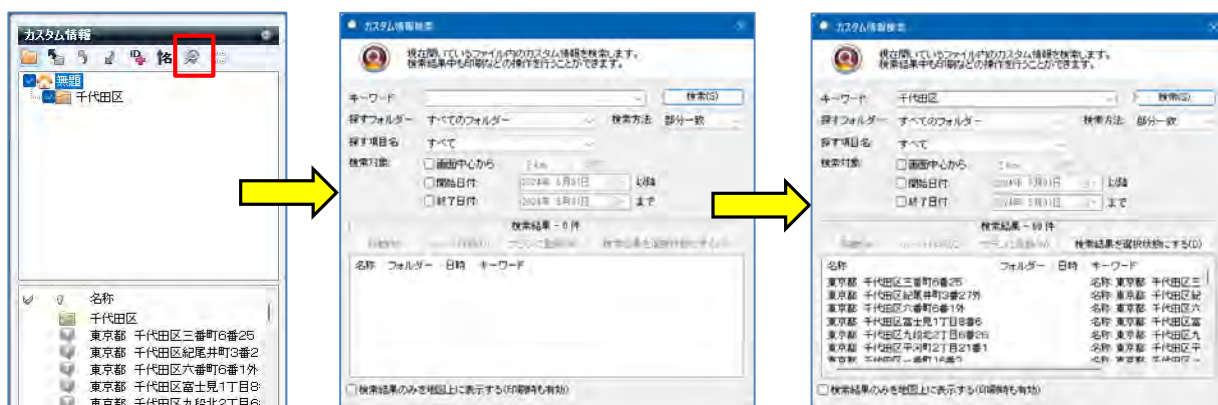
[新規フォルダー] を右クリックして、「名前の変更」でフォルダー名（例：千代田区）を入力します。



② 「カスタム情報」を目的に応じたデータを検索しデータをフォルダー分けをする。

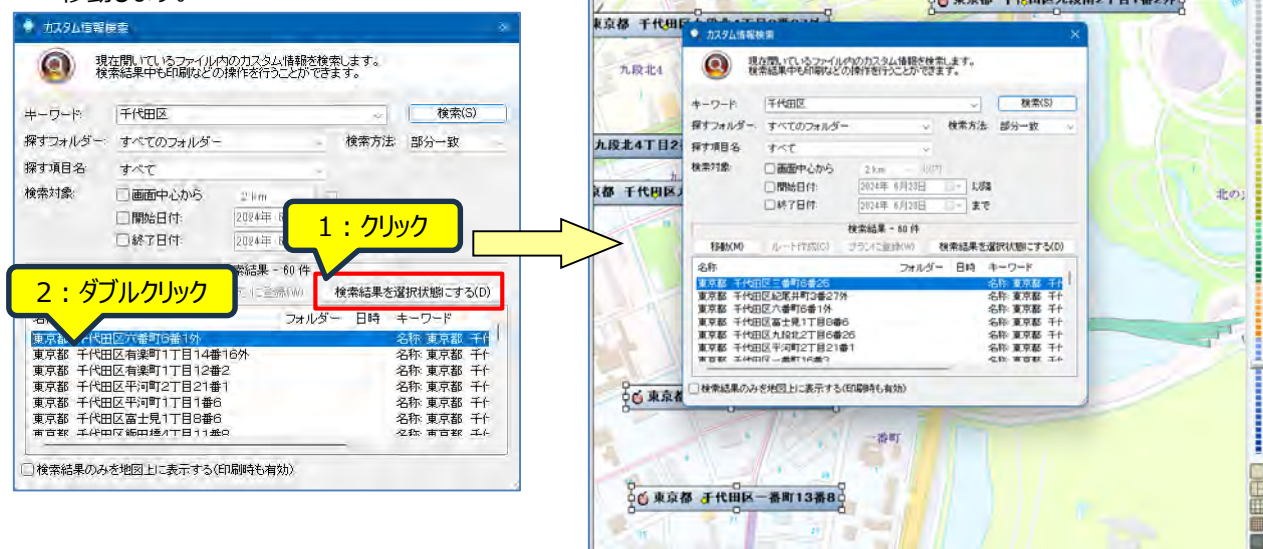
アイコンをクリックし、「カスタム情報検索」を開き、「キーワード」に「名称」を入力し、「検索」をクリックします。

※例：「オープンデータ」東京都のデータ使用、設定は「すべてのフォルダー、部分一致、キーワード」で行います。

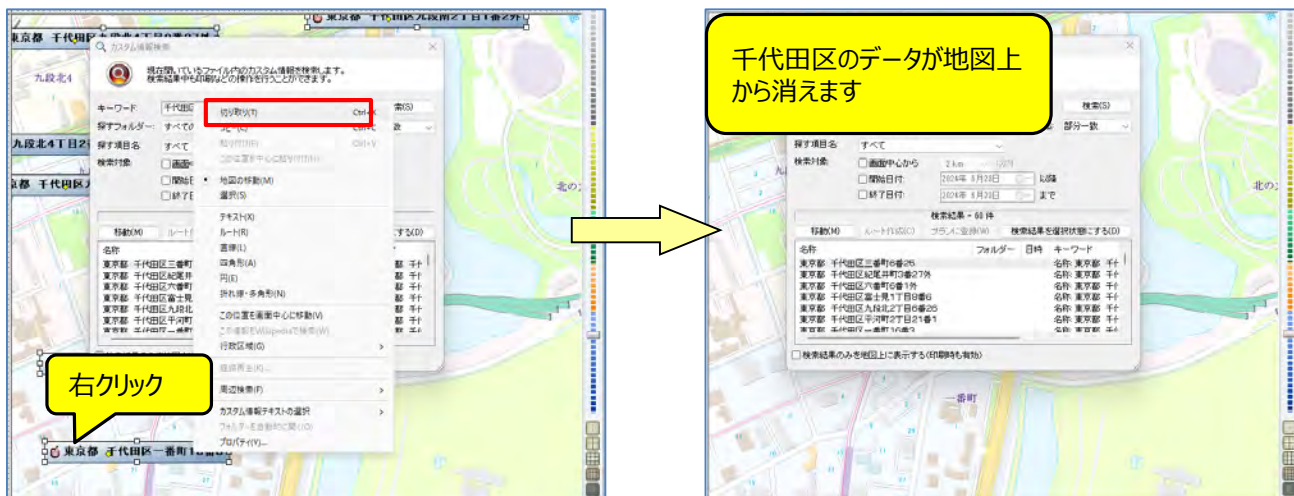


③ 入力された「例：千代田区」で検索されます。

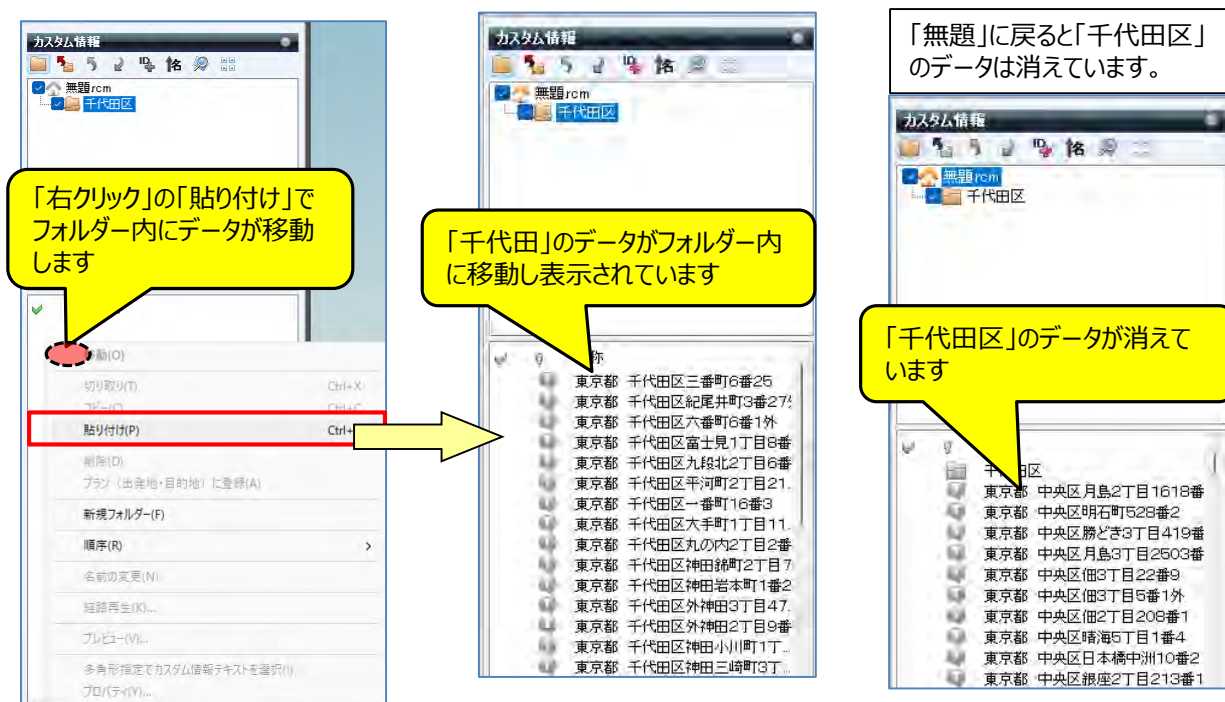
[検索結果を選択状態にする] を「1：クリック」し、検索された「名称」を「2：ダブルクリック」すると、地図が拡大し、移動します。



④ 選択状態の「カスタム情報」を「右クリック」でメニューから「切り取り」を選択します。



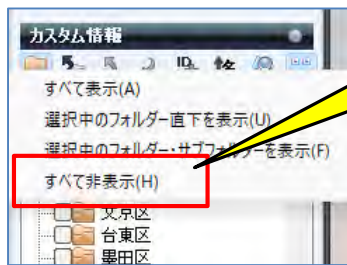
⑤ 「千代田区」フォルダーを選択し、「名称」欄で右クリックの「貼り付け」でデータが移動します。



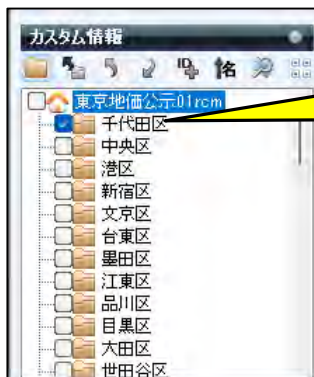
【ポイント】続けてフォルダーを作成する場合は、その上位のフォルダーをクリックして作成します。
 千代田区に続けて中央区以降を作成の場合は、「②～⑤」を参考に作成してください。
 ※手順：「無題」の「新規フォルダー」⇒「名前の変更」⇒「中央区」となります。

■ 複数のフォルダー管理

- ① データを複数のフォルダーで管理されている場合は【カスタム情報欄】の を活用すると、該当フォルダーを選択し地図に表示ができます。



「すべて非表示」で、地図上からデータが消えます。

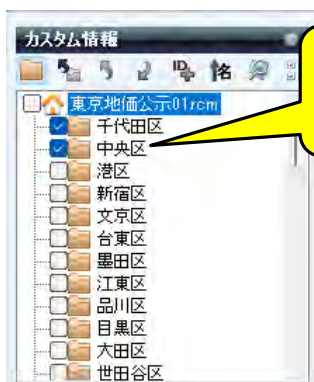


「千代田区」に☑すると千代田区のみが地図に表示されます。



「千代田区」を表示しています。

【ご注意】
スーパーマップル・デジタル25以前のバージョンは、複数選択に対応していません。



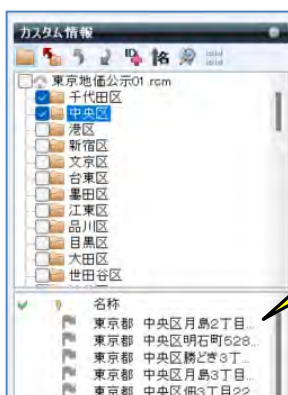
「千代田区」に「中央区」をプラス☑すると中央区も千代田区と共に地図に表示されます。



「中央区」も表示しています。

【🍎参考】

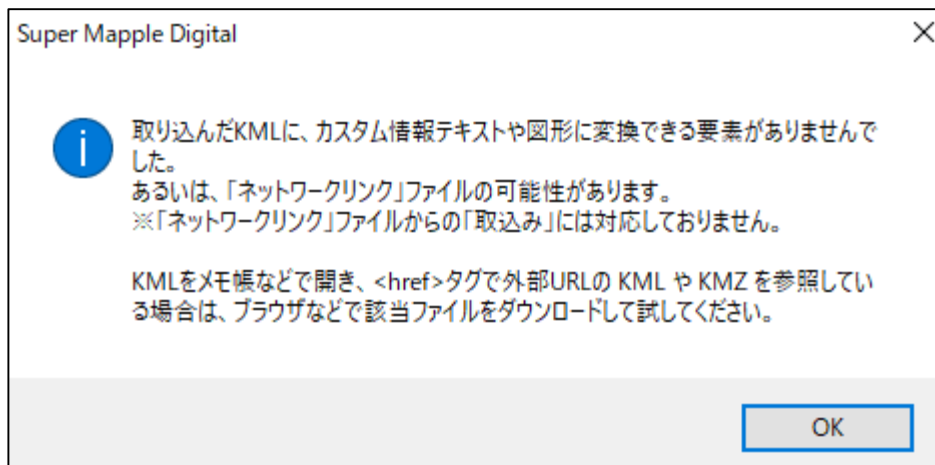
【カスタム情報】欄のフォルダー名の前の は地図表示のON,OFFになります。
フォルダー名称が で囲まれているフォルダーは【名称】欄にデータ名称が表示されます。



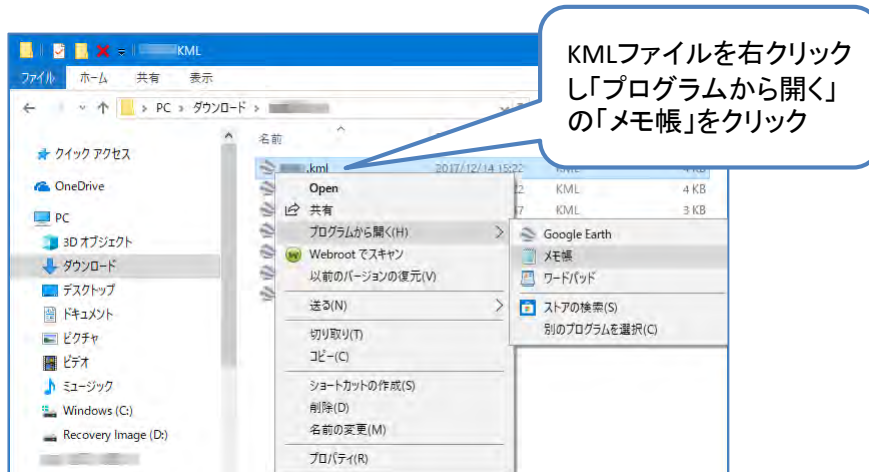
で囲まれた「フォルダー」内のデータ名称を表示

■ 一般的に公開されているKMLファイルは「ネットワークリンク」ファイルとして提供されているものが多いため、「取込み」ができない場合があります。

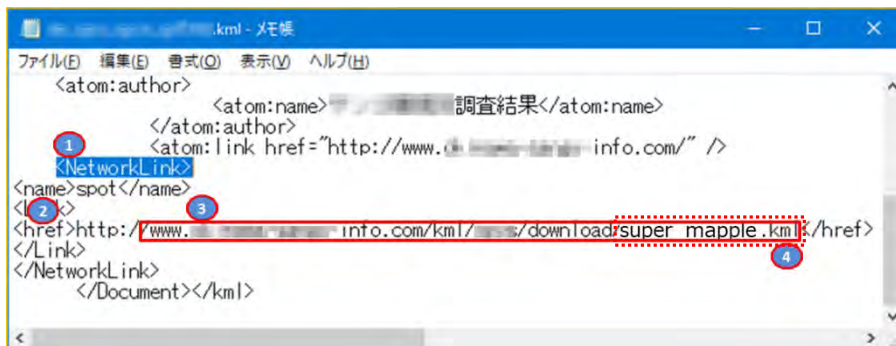
取り込もうとしたファイルに図形やテキストの情報がなく、変換できなかった場合は下記のメッセージが表示されます。その場合はネットワークリンクとして提供されている場合がございます。以下の方法で内容を確認することができます。



1 : ダウンロードした KMLファイルがデータではなく、データ取得するためのリンクファイルの場合は、そのKMLファイルを右クリックし「プログラムから開く」でメモ帳などで開いてください。

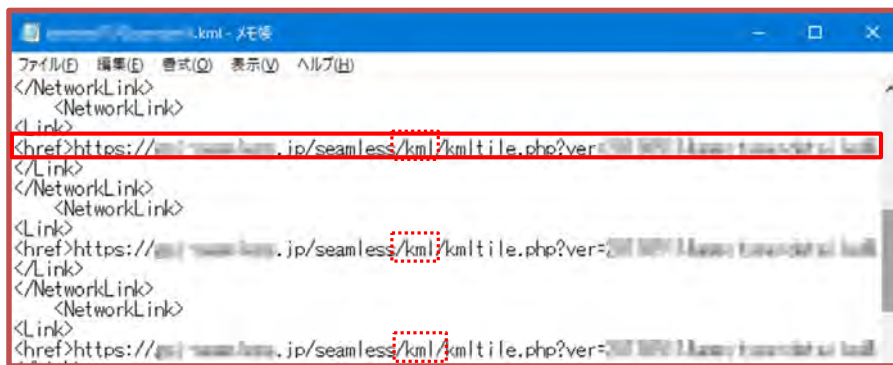


2 : <NetworkLink>①の<href>タグ②で外部URL③のkmlやkmzがファイル名④を参照している場合は、③の赤枠内をコピーし、ブラウザなどに「貼り付け」該当ファイルをダウンロードして試してください。



ご注意 : ★リンク先にkmlファイル名がない場合は、KMLデータファイルを取得することができません。
 ※なお、公開されているデータのご利用の可否は、提供者の利用条件などの許可のもとに利用者の責任において取得をお願いいたします。
 弊社にて責任を負うことは致しかねますのでご承諾のほどお願いいたします。

★リンク先にkmlファイル名がなく、データが取得できない場合の例



■ 各種グラフの作成

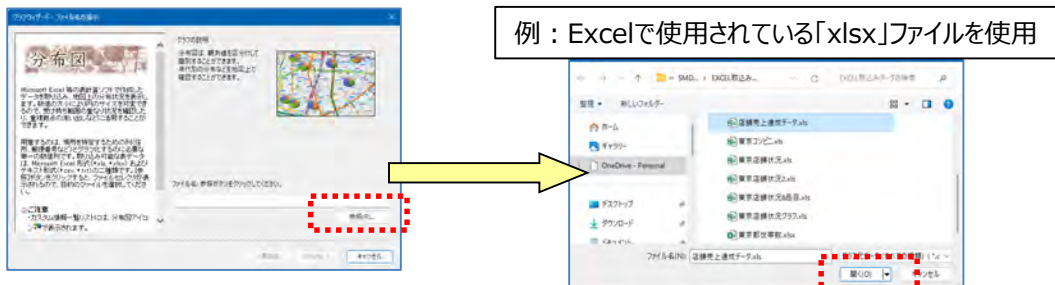
各種の情報やExcel集計データを「分布図」「円グラフ」「棒グラフ」で表示します。

- ① スーパーマップル・デジタルを起動し、[取込]タブのグラフ項目から任意のグラフを選択します。

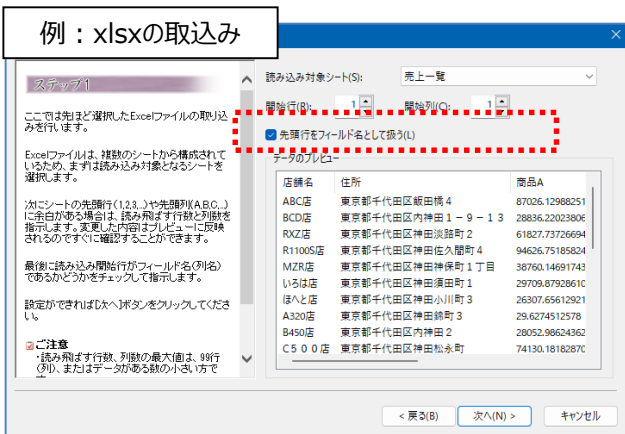


- ② 分布図を作成してみる。

ファイルを選択するため[参照]をクリックし、分布図で表示したいファイルを選び「開く」をクリック。
任意のファイルを選択して、「開く」、グラフウィザード画面で[次へ]をクリックします。



- ③ 「データのプレビュー」で表示されているデータを確認し、[次へ]。

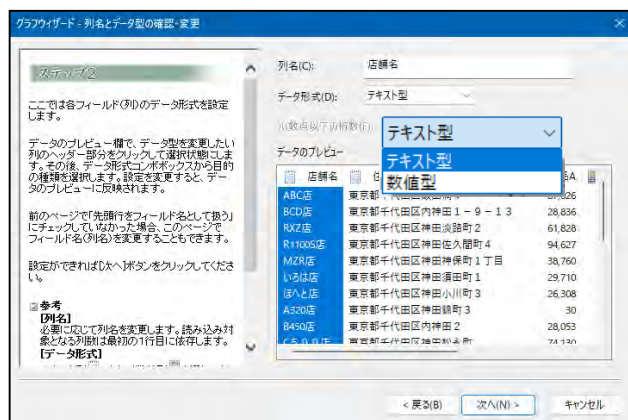


【ポイント】
「先頭行をフィールド名として扱う」に☑が入っていること。

* フィールド名はどの列を、グラフに割り当てるか、設定するときの名称（項目名）になります。

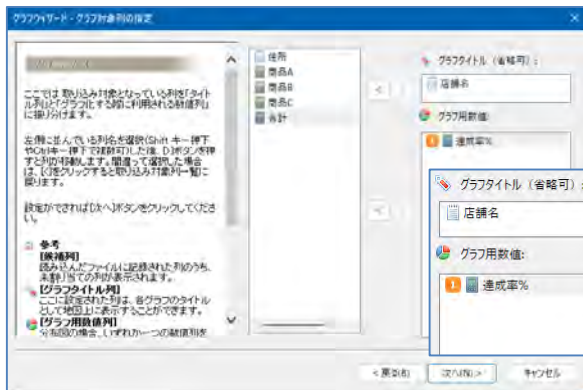
- ④ 列名とデータ形式を確認します。

・項目の名称をクリックし、[データ形式]の▼でデータ形式の変更ができます。



【ポイント】
グラフ表示にしたい「列名」が「テキスト型」だと、グラフ化ができませんので、[データ形式]で「数値型」に変更します。

- ⑤ グラフタイトルには「店舗名」や「顧客名」などを選択し、> をクリックします。
*「グラフタイトル」は省略しても構いません。



・グラフ用数値にはグラフにしたい「数値データ」を選択し、> をクリックします。

【ポイント】

数値データの取込み数は、グラフによって違います。

- ・分布図はひとつ
- ・円グラフは2～12
- ・棒グラフは1～12

- ⑥ 地図上に表示位置設定するため、フィールド名（列）を選択し、> をクリックし、[次へ]で「検証開始」を[はい]でグラフの作成は始まります。

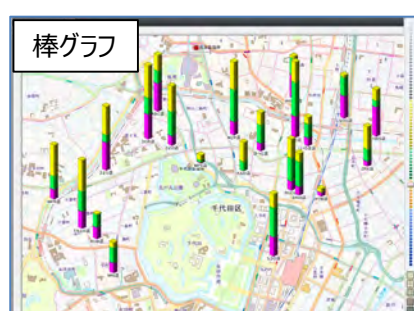
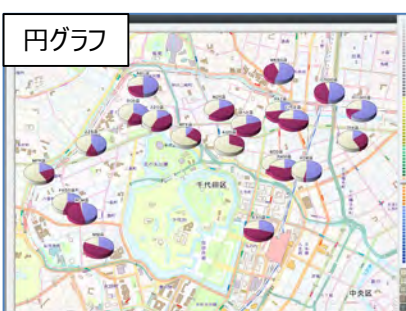


【ポイント】

座標が設定されていない場合は、「住所」で位置の特定を行ないます。

郵便番号は、おおよその位置になります。

- ⑦ 分布図が表示されます。「円グラフ」「棒グラフ」も同じ手順で行うことができます。



【ポイント】

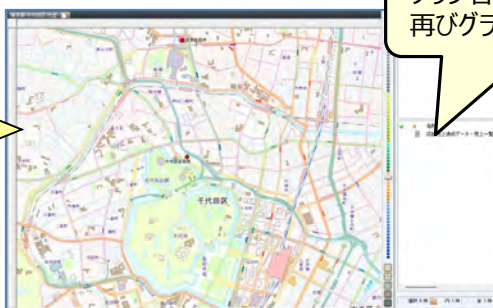
・表示後「プロパティ」で「グラフの色」「グラフのサイズ」を設定することにより、表示バランスを変更することができます。

- ⑧ 「カスタム情報一覧に戻る」をクリックすると、通常の画面に戻ります

<< カスタム情報一覧に戻る

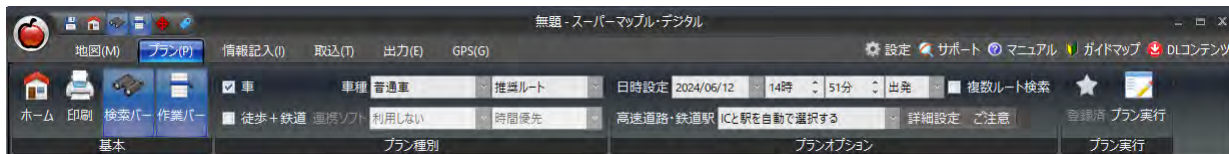
プロパティ

ID	店舗名	商品A	商品B	商品C
1	ABC店	87,026	39,147	48,540
2	BCD店	28,836	73,252	60,492
3	RXZ店	61,828	99,230	59,703
4	R1100S店	94,627	20,903	35,625
5	MZR店	38,760	94,083	81,828

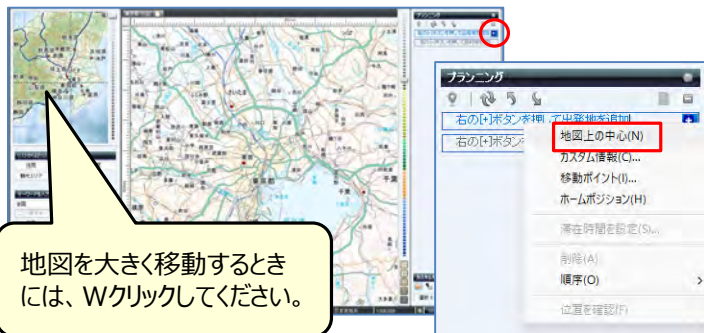


■「行動計画」のプランニング活用

① 「プラン」タブをクリックし、 もONにして、検索バー、作業バーも表示されるようにします。



② 作業バーから「右の[+]ボタンを押して出発地を追加」にある アイコンをクリックし、「地図上の中心」を選択すると、出発地が登録されます。



地図を大きく移動するときには、Wクリックしてください。

地図上で「右クリック」し、登録することもできます。

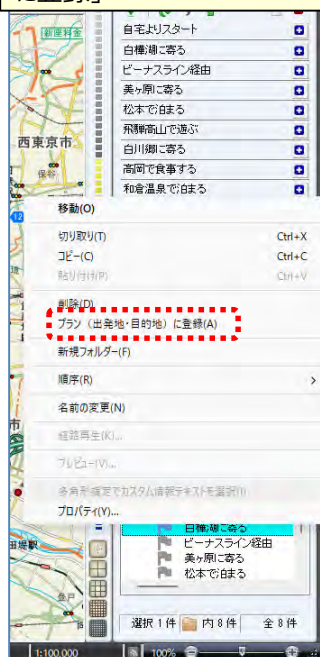


③ 地図を移動し、「目的地」も同様に登録を行います。地図移動させ「②の操作」を繰り返します。

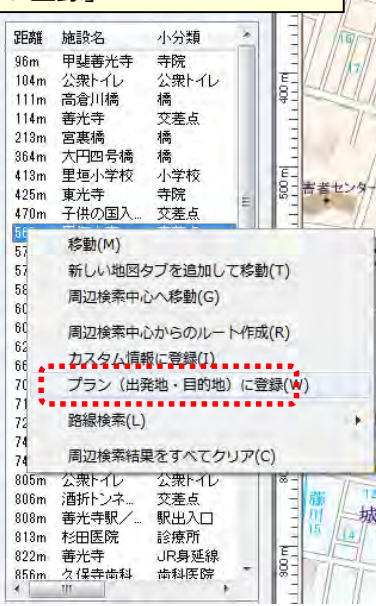
④ 各条件を設定してプラン実行をクリックします。

★各種情報を「プランに登録」ができる方法（右クリックを使う）

「カスタム情報」を右クリックし「プラン（出発地・目的地）に登録」



「検索結果」から右クリックし「プラン（出発地・目的地）に登録」

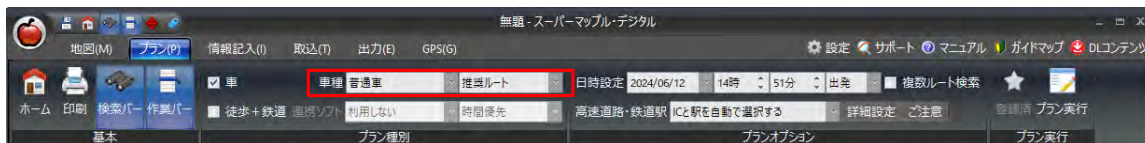


「周辺検索」結果の地図上から右クリックで「プラン（出発地・目的地）に登録」

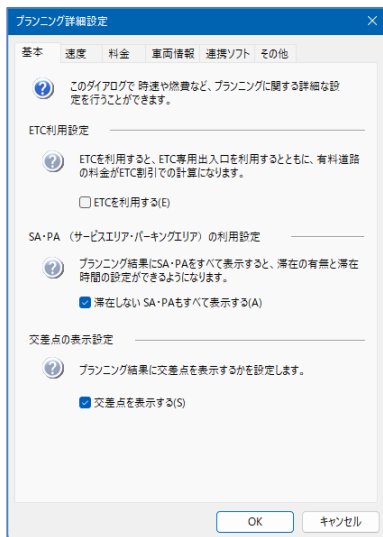


⑤ 移動手段の設定を行います。

例：「車」に☑を入れます。「車種」「優先変更」を行う時は、▼ボタンを押し、選択します。



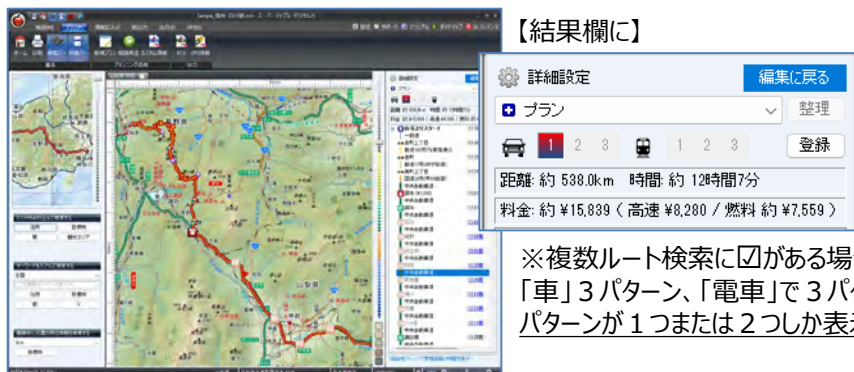
⑥ 「車」での「詳細設定」で、各種の条件を設定できます。



- ・ S A ・ P A での休憩を設定
- ・ E T C 利用などの設定
- ・ 時速、燃費などの設定が出来ます。

【🍎 ポイント】
「車」でのルート検索には、「道路交通規制情報」が採用されています。

⑦ 設定後「プラン実行」をクリックすると、結果が表示されます。

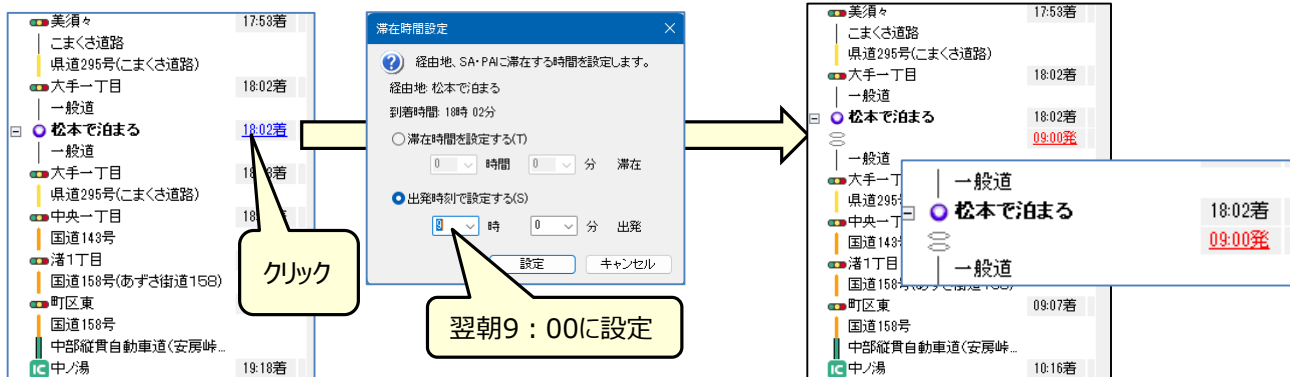


【結果欄に】

※複数ルート検索に☑がある場合は、「車」3パターン、「電車」で3パターンまでの結果を表示いたします。パターンが1つまたは2つしか表示されない場合もあります。

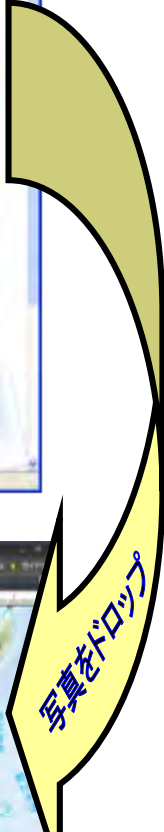
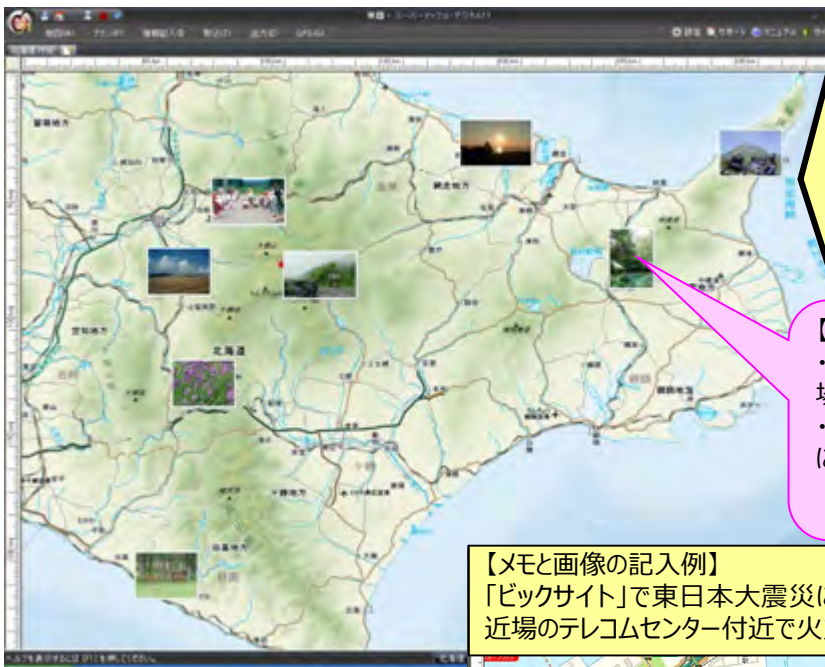
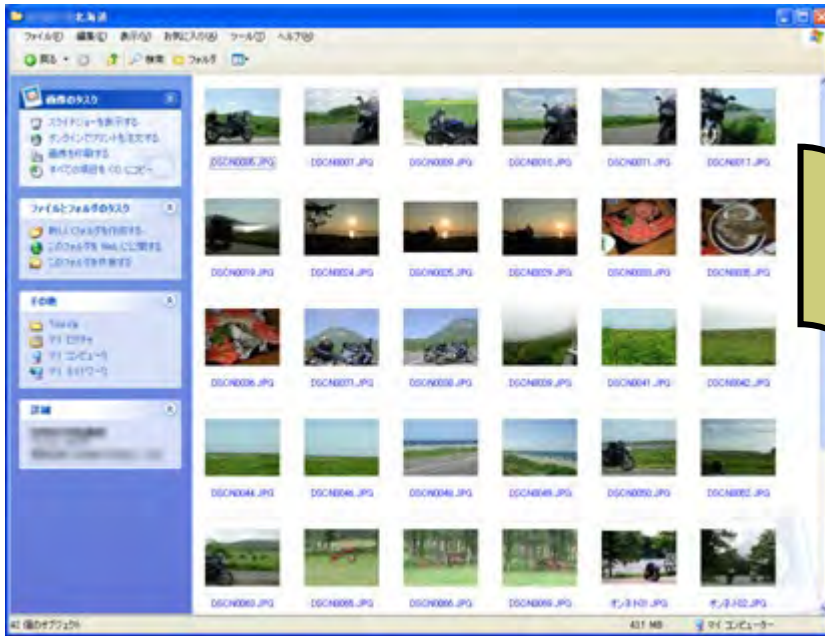
※「有料道路料金」につきましては、実際の料金と異なる場合があります。

⑧ 時間管理も速やかに、休憩時間、翌朝の出発時間を設定した計画が出来ます。



■ 画像データ（情報）の取り込み

① 画像の取込みはメニューから操作せず、パソコンに保存したデジカメ画像を地図上に直接ドラッグ&ドロップします。



【ポイント】
 ・画像に「経度・緯度」が添付されている場合は、自動的に配置されます。
 ・経度緯度が無い場合は、任意の位置にドラッグ&ドロップ（配置）してください。

【メモと画像の記入例】
 「ビックサイト」で東日本大震災に遭う。
 近場のテレコムセンター付近で火災



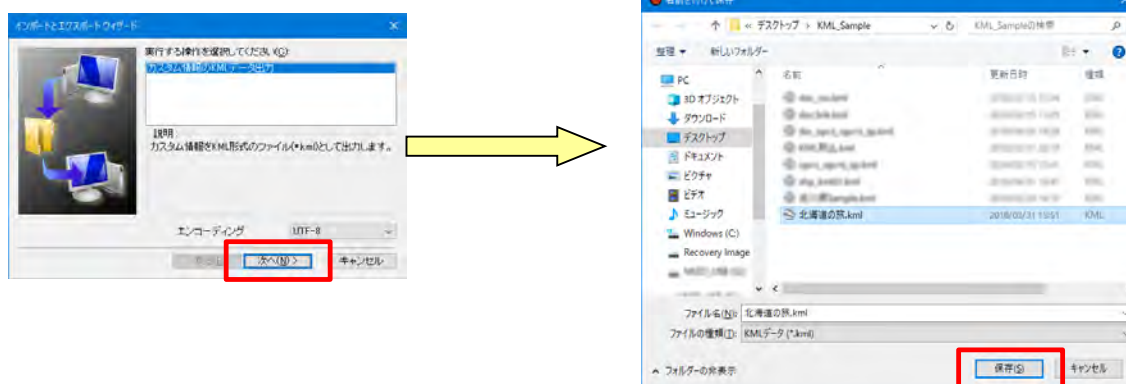
表示されている画像をアイコンをクリックすると大きく表示されます。

■ KML/GeoJsonファイル出力（GeoJSONはV22以降）

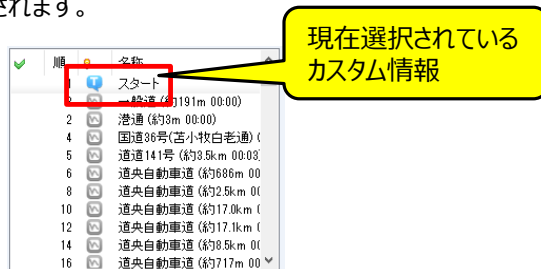
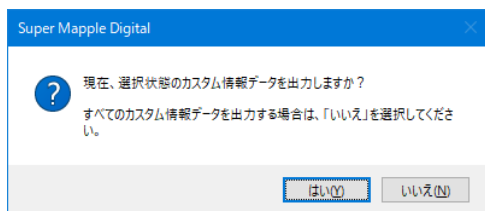
- ① スーパーマップル・デジタルを起動し、KML/GeoJSONファイルとして出力したい「カスタム情報」画面に表示し、[出力]の[KML/GeoJSON]をクリックします。



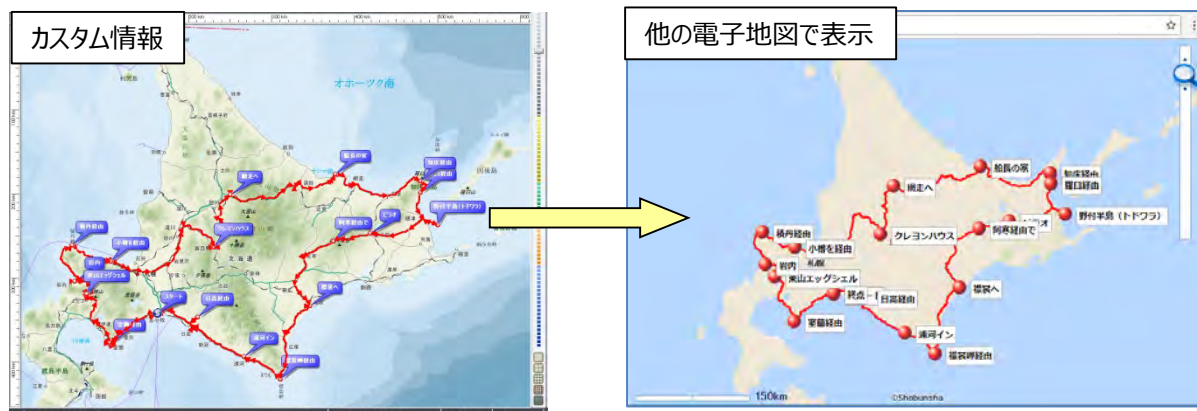
- ② 「カスタム情報のKML/GeoJSON」出力を確認し [次へ] をクリックし、「ファイル名」を入力後[保存]をクリックします。
※KMLファイル (*.kml)として保存できます。




- ③ この画面が表示される場合、「はい(Y)」は現在選択されている「カスタム情報」だけが出力されます。
「いいえ(N)」は表示されている「カスタム情報」すべてが出力されます。



- ④ KML/GeoJSONファイルを他の地図で表示ができます。



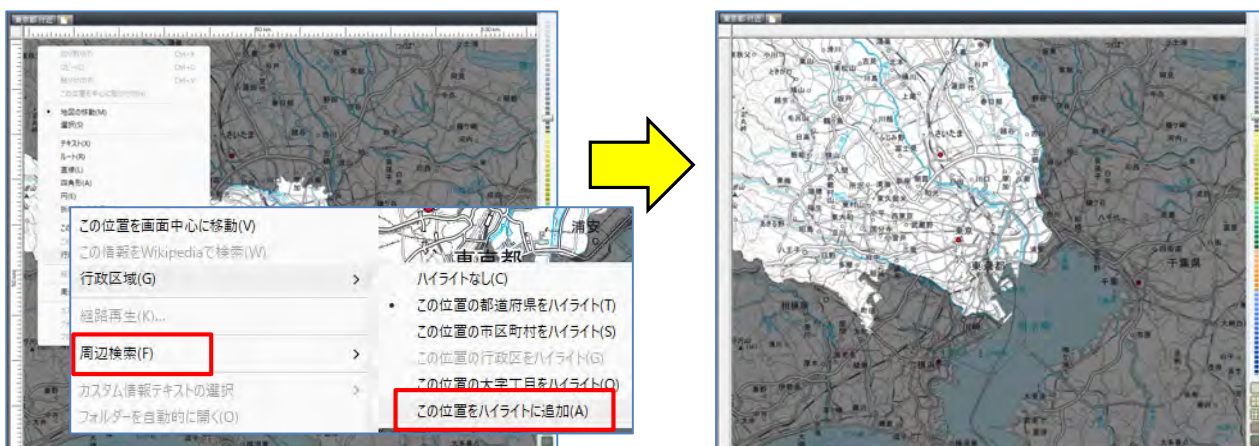
■ 複数行政区画選択(V25以降)

① 「メニュー」から[地図]の[行政区画]の  をクリックか、地図上で [右クリック] し [行政区画] の該当項目を、選択してください。

例：50万分の1



② 続けて [行政区画] を複数選択する場合は、[行政区画] の [この位置をハイライトに追加] をクリックしてください。

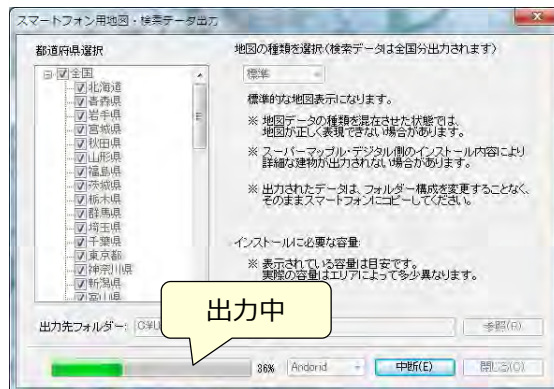
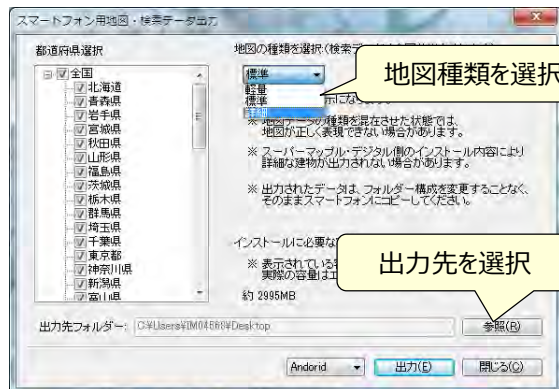
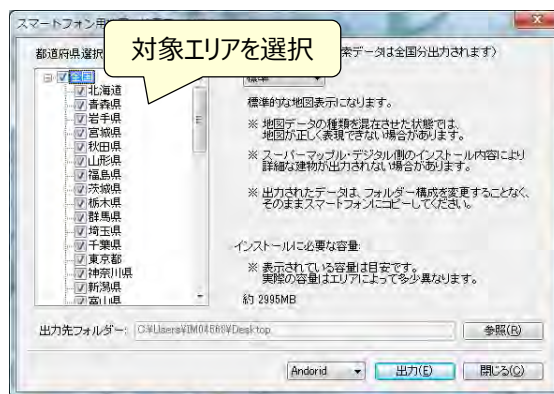
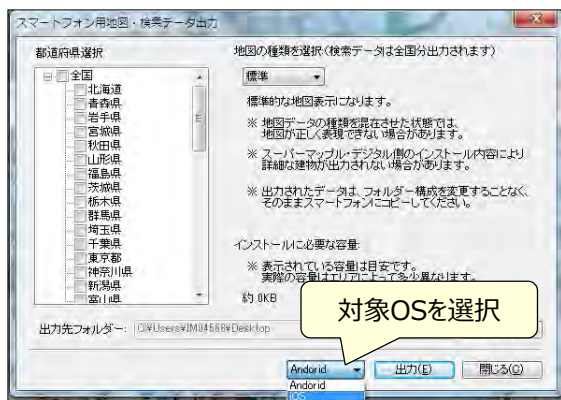


■ スマホ・タブレットへの地図切り出し

- ① メニューから[出力]タブの[スマートフォン]をクリックします。



- ② 地図データ出力画面で、対応OS (Android,iOS) を選択し、選択エリア、地図の種類、出力先を選定し **出力(E)** をクリックします。



※出力されるファイル名：Android版は「Android」、iOS版は「SuperMapple.smdmap」となります。

【参考】

- ・使い方等については画面右上の **ガイドマップ** を選択し、「各種マニュアル」の [Android] または [iOS] を参照して下さい。



注意事項

製品名及び社名などは、各社の商標または登録商標です。

以上